

(様式第4号)

上田市地域情報化推進委員会 会議概要

1 審議会名	上田市地域情報化推進委員会
2 日時	令和3年2月18日 午後2時00分から午後3時00分まで
3 会場	Web会議にて開催（事務局及び傍聴者：市役所南庁舎6階真田の間・千曲の間）
4 出席者	小林一樹会長、西入幸代副会長、井領明広委員、小駒はるみ委員、萱津理佳委員 小山陽三委員、中村和己委員、長谷川はるみ委員、水野泰雄委員、山本幸恵委員 藪井陽子オブザーバー（総務省信越総合通信局情報通信振興室長）
5 市側出席者	吉澤政策研究センター長、大矢政策研究センター副センター長、児玉マネージャー、 中村政策研究センター係長、沓掛政策研究センター主査、中村総務部長、腰原情報 システム課長、鈴木情報システム課係長、武井情報システム課主査、村山情報シス テム課主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	3人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年2月22日

協 議 事 項 等

1 開会（腰原課長）

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 「上田市スマートシティ化推進計画（案）」について

○事務局から「上田市スマートシティ化推進計画（案）」を説明

- ・委員等からの意見に対する考え方
- ・パブリックコメントに対する市の考え方

以降、協議

(会 長) 事務局から「委員等からの意見に対する市の考え方」「パブリックコメントに対する市の考え方」について説明があったが、質問・意見等をお願いしたい。

(委 員) 質問・意見等なし。

(会 長) 市民等からはさまざまな意見が出ているが、基本的には事務局の回答案の内容で問題ないと考える。意見がないようであれば、パブリックコメント以外にも、全体を通しての発言をお願いしたい。

(委 員) 修正された計画案を見て、「3.1 上田市が目指すスマートシティの方向性」が追加され驚いたが、本委員会の中で事務局から説明のあったコンセプトが文章になり表現されている。

技術指向ではなく課題指向、個別最適から全体最適へという話は、委員の発言にもあり、それが文章になって良かった。

(委 員) 委員の皆様の計画をより良くしようとする鋭い指摘等があり、当初の計画案と比較しても非常に、良くなったという印象を持っている。

(会 長) 計画を実施する段階の一つハードルがあると思うが、本委員会の役割はここで終わりなのか。今後の委員会の関わり方を教えていただきたい。

(事務局) 個別施策の進め方や進捗の管理等については、庁内組織の「情報化推進委員会」で検討して進めていく。計画に対しての全体的な進捗管理については、「上田市地域情報化推進委員会」を、次年度以降も開催し、庁内での進め方等を本委員会で報告する。

また、計画には掲載されていない新たな技術や仕組みが登場し、行政で取り組むべき部分については、意見をいただき計画の見直しを行う予定である。引き続き、本計画と上田市の情報化について、意見ををお願いしたい。

(会長) 我々、委員も引き続き計画がどのように実施されるかを、見守る立場として関わっていく。

情報技術は進展が早いので、いいモノが突然出る可能性もある。我々はそのサービスを注視し、今回の計画の中に盛り込めるか、修正するのが妥当かを見守っていければいいと考える。

(会長) パブリックコメントでは、電磁波による健康被害の意見が出ているが、総務省において情報があればお願いしたい。

(オブザーバー) 電磁波による健康被害については、新しい技術が出ると心配する意見が出るが、情報があれば幅広く提供していくが、今のところは提供できる情報は無い。だが、被害があるとの情報も無いので安心して進めていただきたい。

国の方向性もコロナ禍ということもあり不明確な点もある中、短時間でよくまとめたと思う。今後も国の動向の変動に伴い情報提供するので適宜、計画に反映していただきたい。

(会長) 総務省で非常にわかりやすい資料や事例を提供しているので、上田市でも取り入れられるか検討していきたいので、引き続き情報提供をお願いしたい。

(オブザーバー) 情報が多いので、本当に必要な情報がわからないこともあるので、情報を選定し共有していきたい。

(会長) 特に5Gについては大きく状況が変わるように思う。スマートフォン等の普及とはまったく違うことが起こりそうな気がする。

(オブザーバー) 5Gについては、まだまだ導入したばかりで新しい使い方や、我々の想像がつかない使い方も見つかると思うので、その辺りも取り入れていただけたらいいかと。

(会長) 76ページに及ぶ計画を、非常に良くまとめている。国の動向もチェックし、上田市の状況があり、それに対してさまざまな用語がある中で聞きなれない言葉をかみ砕いてまとめている。

(委員) 計画案はとても良くなったと思う。パブリックコメントにもあった全体最適の話だが、一個を実行すればいいわけではなく、連動性を持って取り組むことが大事である。

ここから先は、プロジェクトベースで動いていくので、計画の立案の難しさとプロジェクトの成功は別なので、リスクは当然ある。プロジェクトベースのリスクを挙げると100個も200個も出てくると思う。今回、あくまで計画の立案なので、分けて考えると、プロジェクトを実行するフェーズで足りないことがあると思う。コントロールやリーダーシップ、巻き込み力や調整力が必要になるのではないかと。

この委員会で議論したことがパブリックコメントでも出ていて、市民の課題意識と委員会での課題意識が一致したのが良かった。

プロジェクトマネージャーをどう置くか、どう評価していくか、そのあたりを走りながら考えることになるが、それらが次につながると思う。プロジェクトマネージャーには、ある程度裁量を与えて、決裁権を持って、自己判断でできるようにするとか。そういう工夫をしながら進めるのがいいかと思う。

(委員) 本計画案を実行した際に、やってよかったという結果につながればと思う。今後もさまざまな所から見た情報や、問い合わせなどを情報提供し見守っていきたい。

(委員) 素晴らしい計画案が出来上がったと思う。色々とメール等で分かりにくい質問をし、迷惑をお掛けした。

(会長) 意見いただけるのが大事であり、市民の代表として、思っていることを言うのが我々の役割である。多少まとまっていなくても、何か言ってもらえれば事務局側でかみ砕いてくれる。

(委員) 本委員会の審議は、Web会議で行ったにもかかわらず、ニュアンスが伝わりにくい中でよくまとまっている。Web会議で審議出来たことも、スマートシティの部分で大きな一つの前進かと思う。

次につなげる実行の段階では、さまざまな部分に目を配っていかなければいけない。パブリックコメントが出てからは、市民の方からも色々聞かれ、市民に伝わっていないことが多いと感じた。同じことを言っても違うように取られる方もいて、Web会議が多くなる中で伝わりにくい事もあるので、その部分もスマートに市民に伝わり、みんなができるようなものを実行していければと思う。

(会長) 体験したことがないことを自分自身で試していくとか、色々試して感想も共有されていくと、実感として伝えることができる。

良いものと悪いもの見分けも付いてくるので、リスクのない所で色々試していくことも一つかと。私も新しいサービスが出ると色々失敗しながら使っている。楽しみも含めて、失敗を共有しながら、進んでいければいいかなと思う。

(委員) ようやくスタートラインに立てたと思う。計画を絵に描いた餅にしないためには、スマートシティ化するとバックヤードは、実は効率化が非効率になるのではないかと思う。目に見える部分がデジタル化すると、そのバックでの作業は相当増える。それをスマートに出していくということは、熱意と人間による作業がなければ市民にまで届かない。

我々、民間も公設民営化で色々やってきたことを含め、民間が得意な部分は民間がやり、行政が行う所は行政が行う。

(会長) デジタル化と言っても、実際の課題はそもそもの業務フローにあったりする。何が問題かという、デジタル化が進むことでその業務フロー自体の見直しが求められて、そこがどうしても変えられないということもある。

省庁でもなかなか、足並みが揃わない。書類が山積みされているという話も聞く。難しい面もあるが、始めないと何も変わらないので、良い方向に行くと思っていて、お手伝いできればと思う。

(委員) 新型コロナウイルス感染症があり、仕事も随分環境が変わっていく中で、ついていけるか心配だったが色々勉強になった。

(会長) ついていけるかという話であれば、子供たちの吸収力はすごい。大人がスマートスピーカーで認識して面白いと言っている中で、子供たちは全然使えないと言い出し、要求水準などがどんどん上がっている。

また、彼らが大人になったときに正しく使えるように、教育の面で大人のできることをあると思う。同時に子供から教えてもらうことも多い。若者の方が嗅覚が鋭いので、我々としても、良いものを使えるように、選定していくスタンスを持てるといいと思う。

(会長) 他に意見等は無いか。また、異議はないか。

(委員) 意見、異議なし。

(会長) 計画案に異議等が無いので、本計画案をもって市長へ答申することとし、本日の議事はこれにて終結とする。

4 その他

(1) 答申について

(事務局) 事務局から答申方法を提案したい。

答申日程は2月24日(水)14時から14時30分まで。場所は本庁舎3階第一応接室。

新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるためにも出席者を正副会長の2名に限定し、答申を実施したい。なお、他の委員及びオブザーバーについては、Webにて答申の様子を視聴いただきたい。

(委員) 異議なし。

5 閉会(中村総務部長)